

令和7年10月定例記者会見要旨

開催時間 令和7年10月23日（木）午前10時30分 302会議室

（総務部長）

ただいまより10月の市長の定例記者会見を開会いたします。市長、よろしくお願いします。

（市長）

皆さんこんにちは。

諏訪湖記者クラブの皆さんには大変お世話になりましてありがとうございます。

急に寒くなりまして、暖房が恋しくなるような季節を迎えましたが、世の中は、新しい内閣が発足したばかりで、こちらの方も時代の転換期を迎えたように感じ取っています。当市におきましては、夏のイベントから秋のイベントへとシフトしてまいりまして、各種イベントを進めている最中であります。引き続きご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。今日は、前回からYouTube配信のトライアルをしております、カメラのセットなど修正をしながら、実施のためにもう1回トライアルをさせていただきたいと思っております。ご了解をくださいますようお願いいたします。それでは、10月の定例会見ということで、皆様にご案内をしてまいります。

○映画『盤上の向日葵』 全国公開について

作家・柚月祐子氏の長編ミステリ小説を原作とした映画『盤上の向日葵』が、10月31日（金）に公開されました。映画『ユリゴコロ』、『君に届け』などで知られる熊澤尚人監督がメガホンをとった本作は、主人公の故郷として諏訪地域で撮影が行われました。作中では、諏訪市役所、片倉館、タケヤみそ（株式会社竹屋）といった市民にとっておなじみの場所がロケ地となっています。

○『逃げ上手の若君』 デジタルスタンプラリーについて

開催日：11月7日（金）～12月21日（日）

『逃げ上手の若君』（集英社『週刊少年ジャンプ』にて連載）は、北条家の生き残り・北条時行が、鎌倉奪還を目指して動乱の世を駆抜ける史実を描いた作品で、2024年にTVアニメとして放送されると大きな話題となりました。

作品の舞台の1つである諏訪は、時行が逃げ隠れ、仲間と共に過ごし、力を畜えた地です。この諏訪の地で、デジタルスタンプラリーなどのコラボイベントを開催します！みなさんが見知った諏訪市も、このイベントを通して、これまで気付かなかった魅力が見つかるかも・・・！ぜひご参加ください！

○イベント内容

TVアニメ『逃げ上手の若君』ゆかりの地を巡る、デジタルスタンプラリーの開催！

スタンプラリースポットは合計7箇所

- ・諏訪大社上社前宮（茅野市）
- ・諏訪大社上社本宮（諏訪市）
- ・諏訪大社下社春宮（下諏訪町）
- ・諏訪大社下社秋宮（下諏訪町）
- ・諏訪高島城（諏訪市）
- ・諏訪湖間欠泉センター（諏訪市）
- ・佛法紹隆寺（諏訪市）

諏訪湖エリアの飲食店でTVアニメ『逃げ上手の若君』のコラボメニューが登場！

新規描き下ろしイラストを使用したオリジナルグッズの販売

フォトスポットが登場！キャラクターと写真を撮ろう！

○周辺イベント情報について

市博物館パネル展示「北条時行・諏訪頼重と諏訪」

鎌倉時代の諏訪氏と北条氏の関係や、中先代の乱など南北朝時代の諏訪を紹介します

・会期、会場 11月7日（金）～12月21日（日）市博物館ホール（2階）

※本パネル展は『よいさ！「逃げ上手の若君」諏訪めぐり』イベントとは別企画となります

○地震対策図上訓練について

概要

日時：令和7年11月14日（金） 13時15分～15時

会場：市役所本庁舎302会議室

目的：日中の活動時間帯に事前体制がない中で発生した地震を想定し、各対策部による初期対応以降の対応を状況付与型訓練として実施します。

想定：初期対応については、昨年度に訓練を実施しており、それ以降の対応について、指示の流れの確立、各対策部から本部長への報告・協議、現場との連携を行って災害対応の手順、分担等を確認します。

○令和7年度 すわ未来創造「子どもゆめプロジェクト」について

11月29日（土）午後1時30分 大会議室

令和7年度 すわ未来創造「子どもゆめプロジェクト」第3期

・市長への提言(活動報告)について

市内の小学校に在籍している小学生のメンバー及び高校生・大学生サポーターと共に、

5月から始まった本事業が、11月29日（土）に最終回（第15回）を迎えます。

※高校生2名（諏訪清陵高校）、大学生サポーター10名（公立諏訪東京理科大学学生サークル“チノリカ”スタッフ）がサポーターとして伴走していただいている。令和7年度のプロジェクトメンバー9名（6年生5名、5年生4名）は、全体のテーマを「私たちがつくる諏訪の未来」として「①水と緑あふれる豊かな環境をつくるまち」、「②ゼロカーボンシティとして資源を大切にできるまち」、「③人と環境にやさしいものづくりの情熱があふれるまち」の3つの視点を持って、メンバーや高校生・大学生サポーター等と学校や年代を越えて協働しながら、テーマに対する答えを見付けるために探究活動を進め、市長への提言に向け、大詰めを迎えて頑張っています。

○諏訪市議会 12月定例会について

諏訪市議会 12月定例会

招集日：11月25日（火） ※日程は議会運営委員会にて決定

（総務部長）

ここからは記者クラブにマイクを移します。

（記者との質疑応答）

○最終処分場の視察状況について

（記者）

最終処分場の候補地を市長は視察されたのか、視察された場合はご感想をお尋ねしたい。

（市長）

視察に行くということは決めています但日程調整中のため、まだ現地は見えておりません。

（記者）

日程調整に時間がかかりすぎではないか？

（市長）

現地まで行って視察をして帰ってくるという日程だけでも1時間から1時間半はかかります。現地を視察した副市長がおりますので、スケジュールの中で調整をしております。

（記者）

1か月が経ち、その間1時間半がとれないというのは理解しがたいのですが？

（市長）

大変重要な課題であることは認識をしておりますし、審査委員会が視察をしています。そして、その検討に入っております。私も結果を受け取る前には、必ず現地を確認しようと思っております。タイミングは、調整をいたします。

（記者）

結果が出るまでに見るというのは、当然だと思いますが、当面は視察をされる予定はないということですね。

（市長）

今現状のスケジュールの中では、検討中ということです。

（記者）

何かスケジュール調整以外に理由があるんですか。時間的な理由だけですか。

（市長）

時間的な理由だけです。私もできるだけ早く見たいと思っています。

（記者）

わかりました。

○新内閣への期待について

（記者）

先ほど冒頭の挨拶にもありましたが、高市新首相が誕生して、日本で初の女性首相が誕生したことに関して、女性リーダーとして長く引っ張ってこられた金子市長の受けとめと、新内閣への地方自治体からの期待をお願いします。

(市長)

女性首相の誕生ということは、本当に快挙となるものだと思います。これは、今まで男性社会と言われて、今でもなお日本の女性活躍という意味では、先進国の中でも下位であるという、そういう評価の中にあって、一つの扉を開けたという事実と受けとめておりまして、期待をしております。また、女性のリーダーという立場でも、私自身も元気をもらえる事実であると思いますし、応援をしてまいりたいと思っております。それから、高市首相は、本当に強い意思を持った方だと思います。政策のことや政治に関することについては、やはり様々な手続きを踏みながら、多くの関係する皆さんとともに進めていかれることだと思います。私といたしましては、地方の立場ということで、地方創生、この流れはしっかりと進めていただきたいという期待を持ちながら、また、各自治体が持っている課題については、深い理解をいただいで、一緒に進めていけたらと思っています。

○姉妹都市 伊東市について

(記者)

姉妹都市提携60周年迎をえた伊東市に関してですが、混乱で60周年のイベント等にも影響があったと思います。伊東市への思いというか、どういうふうに落ち着いていって欲しいかがあればお願いします。

(市長)

姉妹都市締結60周年という節目で子どもたちの交流、それから市民交流などを今年度1年間、伊東市・諏訪市と、双方で行っているところであります。本当に政治的には大変な事態であると認識をしておりますが、この成り行きにつきましては、伊東市のことですので、重大な関心を持ちながら見守っているところであります。そしてまだ市民宿泊補助の交流は続いておりますし、諏訪にいらした方を歓迎したいと思っております。また、2月のイベントで諏訪市に来てくれる小学生との再会も楽しみです、大切なイベントとしてしっかりと実行したいと思っています。

○公共施設の使用料について

(記者)

公共施設の使用料の関係でお尋ねしたいのですが、一昨日、市の行政改革推進委員会において、公共施設の公民館とか体育施設とかの使用料を改定する基準の一つでもある基本方針案が示されました。受益者負担の考え方と公平性の担保が重要かと思っております。市内の施設も老朽化していますので、諏訪市長の危機感というか、どういったことを考えていらっしゃるのかということと、市民負担になるので、丁寧な個別の議論が必要だと思いますが、それらの姿勢や考え方についてお尋ねします。

(市長)

公共施設の使用料は、施設を使う人たちが使用する利益を得て、その対価としていただいております。その料金の高低について様々な議論があろうかと思っております。諏訪市は、その基準が明確ではありませんでした。そして、多くの施設の使用料が、この20年から30年間に変えることなく経過してまいりました。その間施設は、徐々に老朽化をしてきておりまして、メンテナンスも必要です。私たちは公共施設の総合管理計画を作り、人口も減少していきます。各施設について適正なバランスを保つことを継続して計画を進行してまいります。市民の皆さんと一緒に、利用する公共施設は、使う人が一部負担をして使用することを

前提として、料金の改定について基本的なルールを定めましょうということで、行革推進委員会でお示しをしました。パブリックコメント等市民の皆さんからのご意見もいただきながら、決めていきたいと思えます。

（記者）

個別の施設については、市民の声をしっかり聞くということですね。

（市長）

個別の施設の料金はそれぞれの施設ごとに、検討をされるべきものだと思います。

○女性市長によるこども・子育て施策に関する懇親会について

（記者）

女性市長による子ども子育て施策に関する懇談会について、先ほど若干ご説明いただきましたが、諏訪市で開催する経緯などを説明してください。

（市長）

全国には、50名前後の女性市長がいます。全国市長会の副会長に倉敷市長が就任しています。また、島田市長が全国市長会の子ども子育てに関する特任の副会長をしています。通常この懇談会は、東京都で行われるのですが、各市において開催してはどうかという提案がありました。私の任期数が多い方であること、また副会長の島田市長のアシスト的な立場もありまして、諏訪市での開催を打診され、承諾したという経過となります。懇談会には、リアル出席と、オンライン出席で20名を越えた女性市長が出席していただきます。

時間

- ・ 16:00 視察「すわっチャオ」
- ・ 16:30～懇談会
- ・ 18:30～意見交換会 「鷺の湯」

（総務部長）

以上をもちまして10月の定例記者会見を閉会します。ありがとうございました。